

# 2011年（平成23年）度第8回常務理事会記録

日時 2011年（平成23年）12月10日（土）12:04～13:55

場所 八重洲ダイビル第1会議室

出席者：高田邦昭（理事長）、牛木辰男、岡部繁男、河田光博、渡辺雅彦（以上常務理事）、竹田扇寺田純雄、仲嶋一範、（以上常任幹事）、天野恵子、中村聡（以上、口腔保健協会）

## I. 会議記録の確認

2011年（平成23年）度第7回常務理事会（平成23年9月10日開催）記録（案）

2011年（平成23年）度臨時総会（平成23年10月15日開催）議事録、記録、摘録（案）

## II. 報告事項

### 1. 庶務報告（岡部庶務担当理事）

#### (1) 会員異動報告

平成23年9月分（入会者 正会員2名、学生5名、退会者 正会員 6名）

平成23年10月分（入会者 正会員3名、学生3名、退会者 正会員2名）

平成23年11月分（入会者 正会員2名、退会者 学術評議員1名、正会員 2名、学生 1名）

逝去会員：なし

#### (2) 名簿の販売状況について

未収分32件に関しては損失処理で決算報告することとなった。残部約60部のうち20部を予備として保管し、それ以外は処分することとなった。

#### (3) 申請による学術評議員の申請状況について

資料に基づき12月10日現在の申請状況の確認があり、6名の申請があることが報告された。

#### (4) 学会宛文書類について

① 通知・依頼：レーザー顕微鏡研究会より「超解像国際シンポジウムInternational Symposium Super-Resolution Imaging 2011 協賛依頼」他31件の通知・依頼あり。

② 書籍・定期通信等：製薬協より「製薬協ニューズレター，No. 145」他22件あり。

#### (5) 一般社団法人移行について

配布資料に基づいて説明があり、電子申請を行ったことが報告された。また、今後の進行予定に関して説明があり、現時点での手続きが遅滞なく進行している旨が報告された。

#### (6) ホルマリン作業環境についてのアンケート結果について

配布資料に基づいて説明があり、これから結果をまとめる予定である旨が報告された。

#### (7) 日本医学会利益相反会議報告について

標記の会議に出席した岡部理事より説明があり、現在日本医学会に加盟する学会の約半数が利益相反（COI）に関する取り決めを行っていることが報告された。様々な意見交換があり、今後ASIを手始めに解剖学会でもCOIへの対応を行っていく旨が確認された。

#### (8) 研究医養成に関するアンケート中間報告

資料に基づいて説明があった。

#### (9) その他

理事長より当日配布資料に基づいて厚生労働省のサージカルトレーニングに関する予算と文部科学省における対応状況についての説明があり、種々の情報交換が行われた。

### 2. 編集報告（渡辺編集担当理事）

#### (1) 解剖学雑誌及びASI刊行報告及び刊行予定

資料に基づいて説明があった。

#### (2) 科研費申請について

資料に基づいて説明があった。

#### (3) 日本医学雑誌編集者会議報告

資料に基づいて説明があった。同会議に年森編集長が参加したこと、①二重投稿の防止、②臨床試験に関する諸問題、③COI、の3点が主な議事であった旨が報告された。

#### (4) その他

学会出版物の今後の在庫管理保管スペースを検討することとなった。

### 3. 企画・渉外報告（河田企画・渉外担当理事）

#### (1) 平成23年度奨励賞・解剖組織技術士功労賞について

資料に基づいて説明があり、今年度は申請がないことが報告された。

- (2) 2012(平成24)年度総会・全国学術集会準備状況について  
資料に基づいて説明があり、理事会で大野会頭より報告がある旨が確認された。
- (3) 2015(平成27)年度総会・全国学術集会開催校について  
河田理事より京都府立医大が開催希望校として立候補したこと、日本医学会総会に合わせて京都で開催すること、日本生理学会との合同大会を企画する予定である旨の説明があった。
- (4) 2013(平成25)年度総会・全国学術集会開催日程について  
香川大学(竹内教授)の担当で開催することと、同学会の会場に関して説明があった。会期は2013年3月28から30日で、役員会は27日である旨が確認された。
- (5) 一級技術士審査結果について  
資料に基づいて1名が合格した事が報告された。
- (6) 二級技術士審査結果について  
資料に基づいて7名が合格した事が報告された。
- (7) 生物科学学会連合報告  
資料に基づいて、①会費の増額、②法人移行に関する諸問題、③学術会議に関する問題④学会誌に関する問題、の4点が主な議事であった旨が報告された。このうち①に関しては、パブリックコメントの発信などに本会の存在意義があることを確認し、解剖学会としては増額要請に応じた上で参加を継続することが確認された。
- (8) その他  
特になし。

#### 4. 会計報告(牛木会計担当理事)

- (1) 支部学術集会決算について  
資料に基づいて説明があった。
- (2) 2011(平成23)年度全国学術集会収支決算について  
当日配布資料に基づいて誌上開催になった116回大会の決算報告があった。また余剰金の取扱いに関しては本日審議する事が確認された。
- (3) 平成23年度中間決算書について  
資料に基づいて①余剰金、②IFAへの対応に関して報告があった。
- (4) その他  
特になし

### III. 審議事項

1. 新入会員の承認について  
資料に基づいて説明があり、全員が承認された。
2. 教授就任による学術評議員審査について  
資料に基づいて本申請資格枠の基準が確認された。6名中5名が承認された。信州大学の寺田信生氏は申請枠の資格区分が異なるため保留となり、事務局より「申請による学術評議員」枠への申請を案内することになった。
3. 名誉会員・永年会員の推薦について  
資料に基づいて説明があり、総会主催経験者として北里大学の山科正平氏が名誉会員に推薦された。
4. 教授就任による学術評議員就任についての申し合わせ案について  
資料に基づいて説明があり、申し合わせが承認された。
5. 事務委託契約について  
資料に基づいて説明があり、委託契約更新が承認された。
6. 平成24年度事業計画案について  
資料に基づいて説明があり、①ドイツのAnatomische Gesellschaftとの学術交流、②関東支部学術集会と懇話会の統合、③解剖学雑誌の年間刊行回数に関して質疑応答があった。このうち③に関しては従来通り年4回の刊行とする事が承認された。
7. 平成24年度仮予算書案について  
資料に基づいて説明があり、予備費の黒字額、質問のあった学会誌刊行費などを含め全てが承認された。
8. 「臨床医学の教育研究における死体解剖のガイドライン案」における各支部の意見について  
資料に基づいて説明があり、解剖学会としての対応は理事会で諮ることにした。議員立法に関して現在は動きがない事が説明され、確認された。

9. 資産運用の申し合わせ案について

資料に基づいて説明があった。23年度決算の黒字分は理事会に諮った上で年度内の処理を行うという提案がまとめ承認された。

10. 次期日本医学会長、副学会長、幹事候補者の推薦について

資料に基づいて説明があった。種々の意見交換が行われたあと、解剖学会枠ではなく基礎医学枠として推薦するのが望ましいという意見が提示され、詳細を内山前理事長に照会することにした。

11. その他

河田理事からの当日配布資料に基づいて、今後実現していくべき将来計画WG案の中から数項目が選択され、承認された。また、その実現に当っては河田理事が中心となることが提案され承認された。

次回の常務理事会日程について 平成24年1月28日（土） 13:00～ 東大医学部